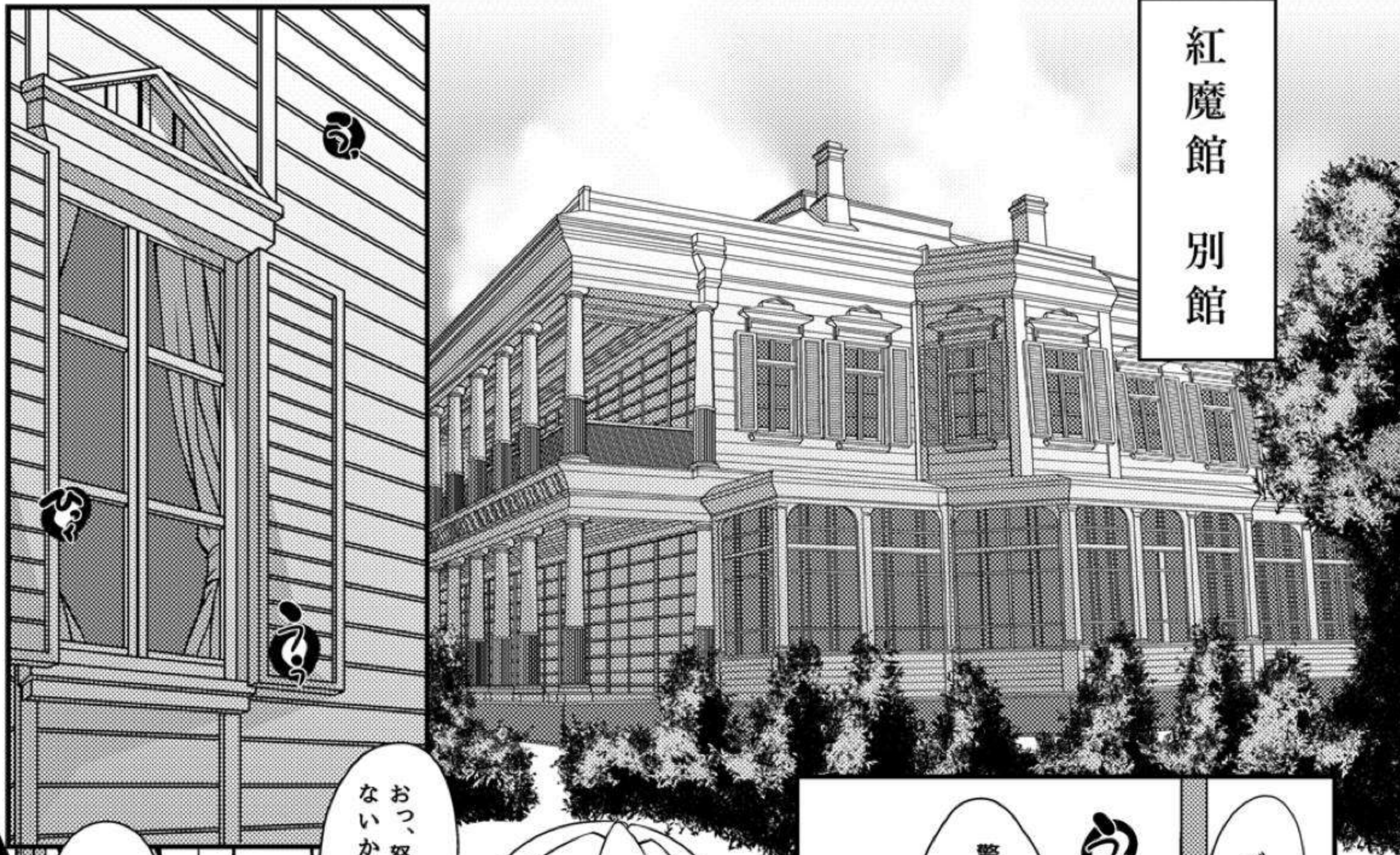


咲  
夜  
光  
Doi



成人向同人誌  
※18歳未満の方は購入できません

紅魔館 別館



おっ、怒ってるんじゃないからね…

ただ…お姉ちゃんもビックリしちゃって…

驚かす気はなかったんだけどえっと…

ごっ、ごめんね…

悪いことしたのは僕ですから…ううう…

わっ、悪いこと…なんかじゃ…

…いえ…

ごっ、ごめんなさいい…

お姉ちゃん…



えっと…

本当にお姉ちゃん…  
怒ってないの？



…いえ…  
そんな…

さっきのことも  
ちゃんとヒカルちゃんが  
大人になってるっていう証拠  
だもんね

でも、ちゃんと謝れるなんて  
ヒカルちゃんは偉いなあ…



怒るなんてとんでもない  
最初は驚いちゃったけど…

ヒカルちゃんがちゃんと  
大人になってて安心しました！

だからいつまでも  
ベソかいてるんじゃない  
ありません！



はっ、  
はい…



何？

大丈夫だよ  
お話があるなら  
ちゃんと聞かせて？



はいっ！

あっ…あの！



ねえ…お姉ちゃん…

ん？

こんな時に  
言うのは卑怯かも  
だけど…

おっ、お姉ちゃんには  
お勤めがあつて…

ほっ、

僕みたいな執事見習い  
なんかじゃ釣り合わないのは  
わかっていきます！

僕は…  
咲夜お姉ちゃんのことを  
好きです！



いっしょ

それでも言わせてください  
これを言っておけば

今までモヤモヤと  
僕の中にあつたものが  
晴れる気がするんです

カッコよくて！  
誰よりも綺麗で！

ヒカルちゃん…

…えっと…ちよ、ちよっと  
それは…卑怯…だよ…

何より…  
僕のことを  
誰よりも褒めて  
くれる…  
そんなお姉ちゃんが…

そっ…そんな  
釣り合わないなんて…

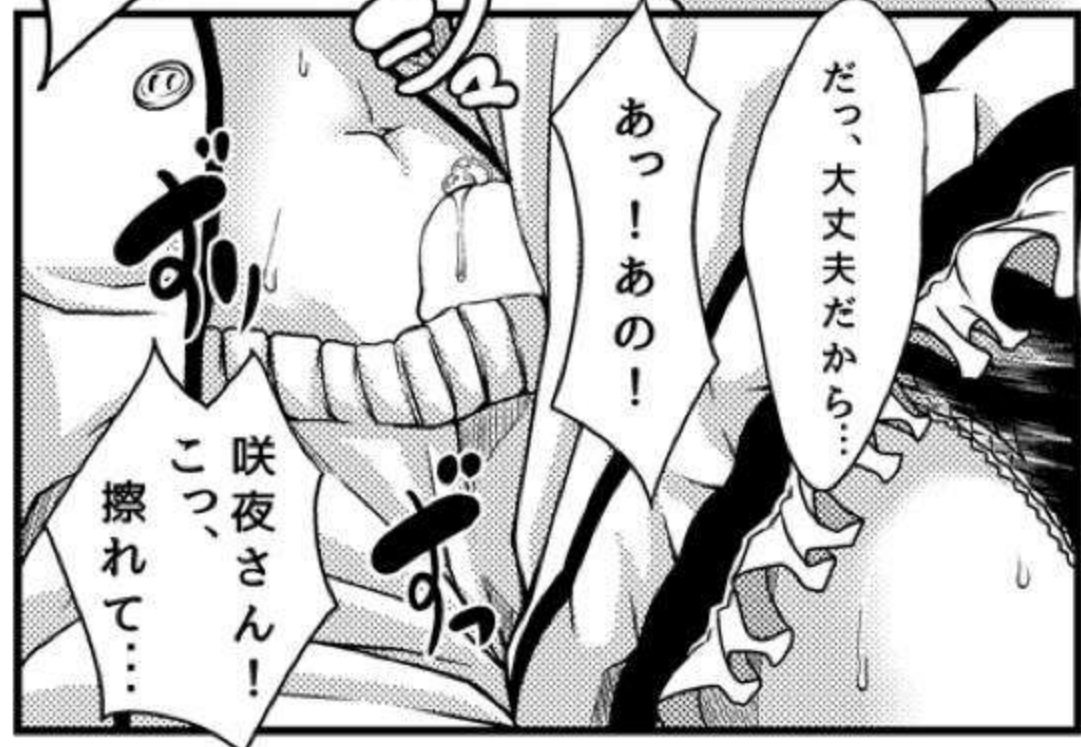
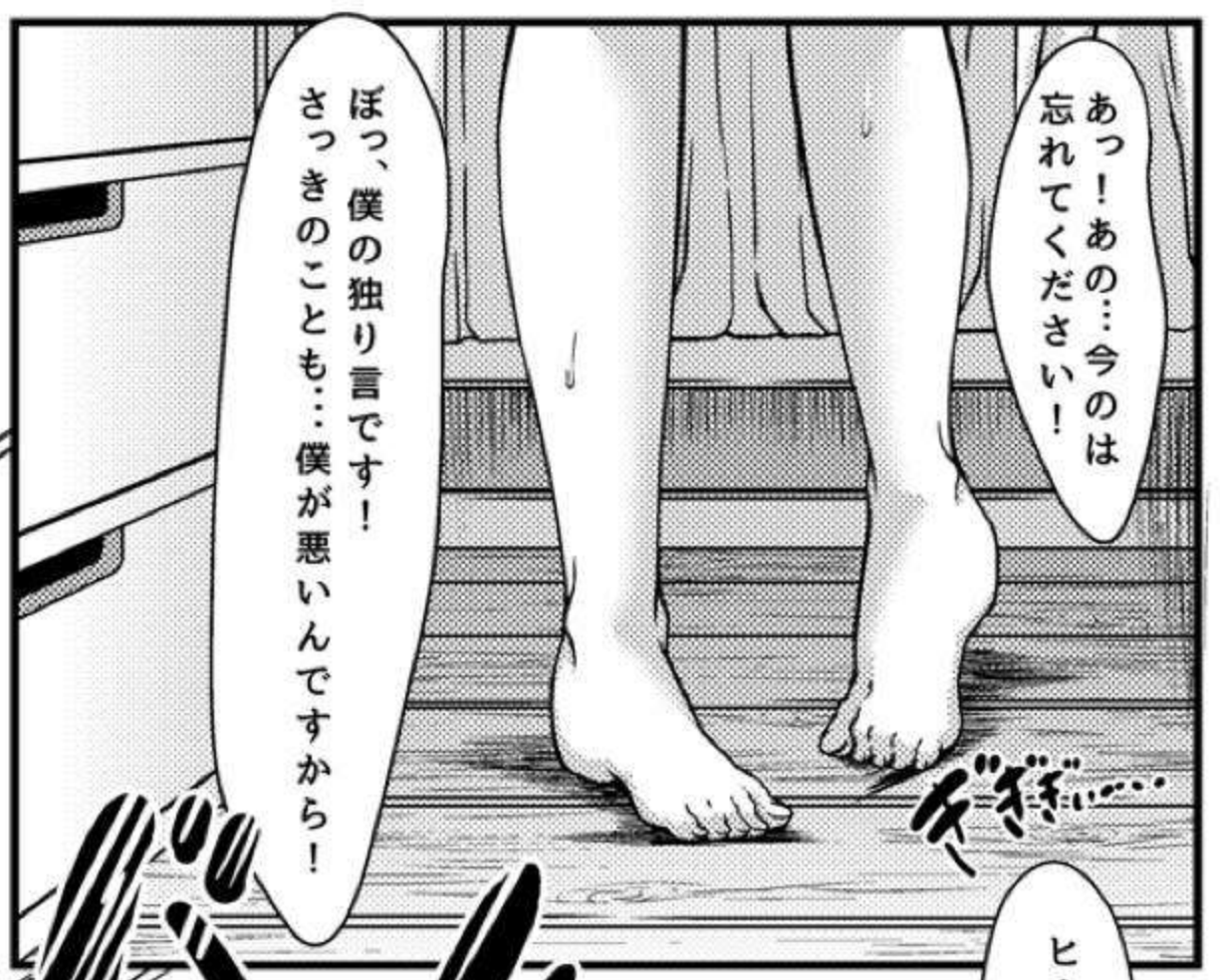
はい…わかってます  
自分一人を納得させるのに

勝手に告白なんて…  
やっぱり僕はお姉ちゃんとは  
釣り合わない…です…

ヒカルちゃんは  
頑張ってるし…

わっ、私のこと  
慕ってくれてる  
のは分かってたし…

ドキ







あつ、あの…  
咲夜さん

大丈夫…  
ヒカルちゃんは何も  
悪くない…

お姉ちゃんはまだ  
我慢しないからね…

えっ？

咲夜さん…

長い長い間我慢してきたから  
どうなっちゃうか分からないけど…

私のことを好きになってくれた君に  
私の全部、見て、触れてほしいの…

ドキ♡

ドキ♡



さあ…おいで…  
ヒカルちゃん…

ドキ

ドキ



おっ…  
お姉ちゃん、僕…

んっくっ…

んっ…

うえあ…

大丈夫だから…  
気持ちよくなることに  
集中して？

グッポ

グッポ

グッポ

グッポ

グッポ

グッポ

グッポ

うあつ！



はっ…

ヒカルちゃんの  
立派で…固くて…

じゅる

くちゅ

咲夜さん！  
でっ、出ますううう！

ビクッ

びゅん

るる！！

んんぶうえ！



あああへああ...

はあ

はあ

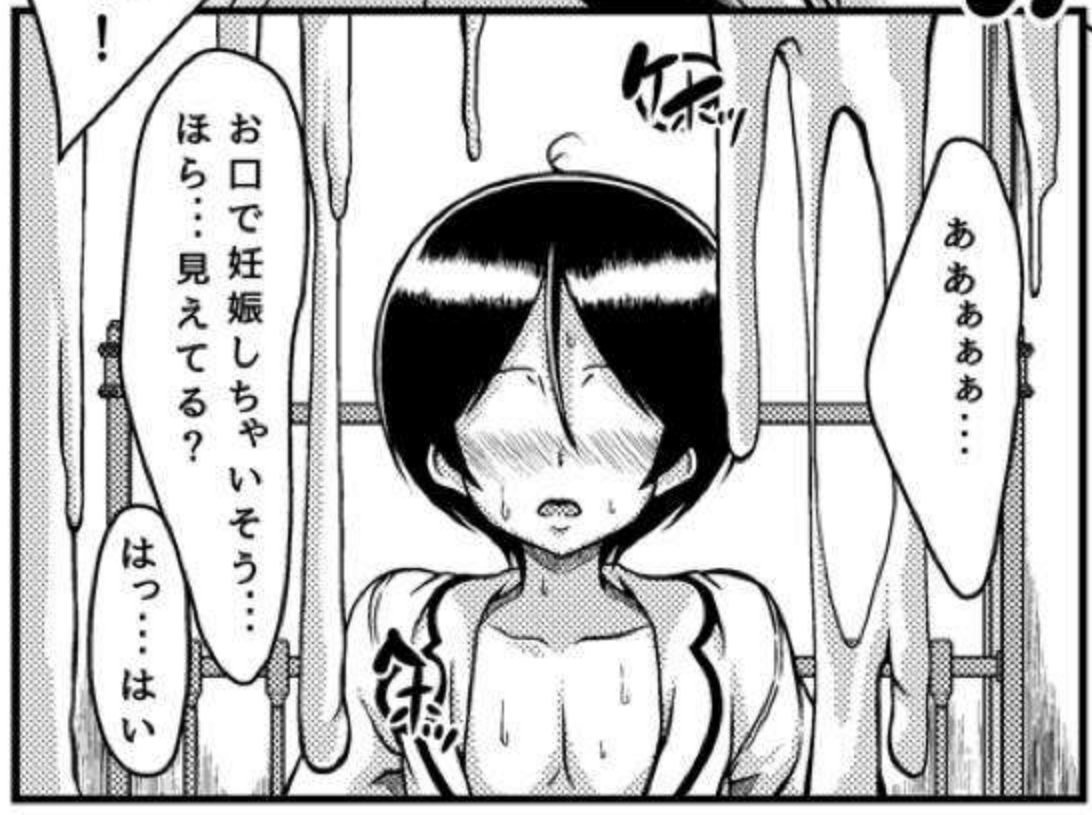
あっはああ...はあ...



ほっ、ほら...

お姉ちゃんのお口に  
たつぷり出た...あへああ...

はあ



あああああ...

お口で妊娠しちやいそう...  
ほら...見えてる？

はっ...はい



さっ、咲夜さん...

ほら...見える？

ここが...私の...

女の子の一番大事な場所...

ドキ

ここに挿れたら、  
ヒカルちゃんは私だけの  
人になるんだから...

ひく

ひく

ビクッ！！



さあ...

最後は...  
私の一番恥ずかしい場所に...

ドキ

するる





そう…  
そのまま腰を  
落として…そう

んんんんんんあっ!

ゴッ!  
めいっ!

ああああ!



でも、せっかくの最初

ヒカルちゃん  
自身でやってみて…



あつ、あの…  
下手くそだと思うけど…  
えっと…

大丈夫、  
最初から上手な人なんて…



さあ!  
一緒に気持ちよくなるうねっ!

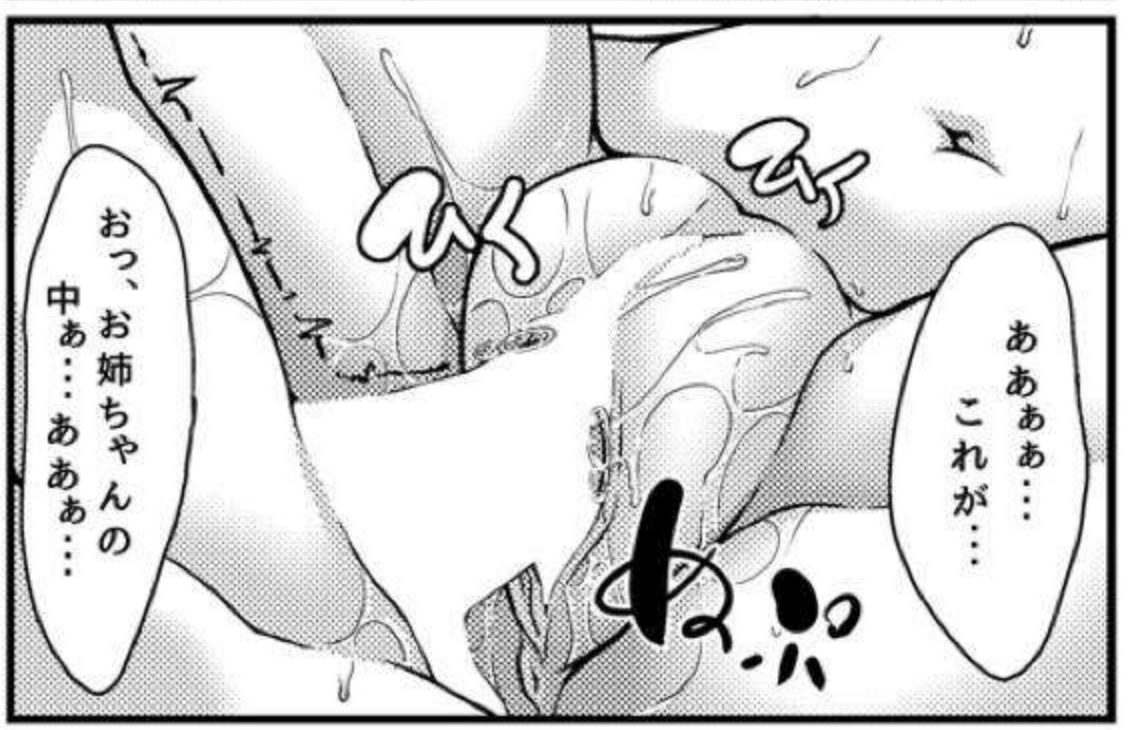
あつ!  
待ってください!

ああつ!



おめでとう…  
ヒカルちゃんはこれで…

本当に大人になれたね…  
お姉ちゃん嬉しい…



ああああ…  
これが…

おつ、お姉ちゃんの  
中あ…あああ…



お姉ちゃん!  
お姉ちゃんっっ!

あああ!

はいっ!

ヒカルちゃん...  
じよっ、上手...



あああああぐっ!

あああああ!  
もっと突いて!  
突いてええええ!

はいっ!



お姉ちゃん...

僕...  
僕なんか怖いよ...



これが終わったら...  
お姉ちゃんが...

遠くに行って、  
もう逢えなくて...

大丈夫!



私とヒカルちゃんは  
恋人になったんだよ?

ずうずうっと一緒に!  
ずっと私と繋がるの!



僕...僕...

そんなこと  
なったら...





大丈夫だよ…  
お姉ちゃん  
ちゃんというよ…

ん？  
…寝れないの？



お姉ちゃん…



いろいろと初めて  
をして落ち着かない？

…うん  
それと…



下着のこと…  
ごめんなさい…

…えっ？

なあに…  
まだそんなの気にしてたの？

ちゃんとまだ謝って  
ないから…その…

お風呂入ろうとして  
お姉ちゃんの下着見つけて、  
興奮しちゃったんだ…ふふ…

ああああう…

使ったやつ、  
ちゃんと洗っておきなさいね  
シワも伸ばして…

はっ！はい！

明日もお勤めなんだから！  
しっかり寝なさい！

はっ…はい

うん…  
おやすみなさい…

おやすみ…

今の状況に絶望したとか  
紅魔館でのお勤めに  
嫌気がさしたわけでもない

新しい光が射して、  
その光が照らす場所の温かさに  
魅了されたというか…

ああああ！

あああ！

日々は捨てず、  
しかしながら今までは違う  
時間が流れ始めたのだ

ひっ！  
はっ！

はあっ！

頑張っ！  
お姉ちゃんの中に出して！

お姉ちゃん！

あっ！

ああああ！  
もっとおお！

私は夢中になった

出してえええええ！

だっ、出しますねっ！  
出しますっ！

ピ

ああっ！

お姉ちやああん！

ひっ...

はっ...  
ひっ...

こっ、腰...ぬけちゃった...  
あぁ...お腹の中...いっぱあ...

びちゃ

びちゃ

ビク！

ひああああっ！

キタキタキタ！

中出しきたー！あぁ！

ビク！

ヒカルちゃんの...  
孕んじやううう...  
コホ  
ビク

でも...  
意外とそこらへんは  
しっかりしてて...  
びく  
びく  
びく  
ひっ...



ヒニング…？

避妊具の一つなの

これはね  
コンドームって言って

女の子には大事な日があつて、その時に使うものなの

難しいかもしれないけど、  
とっても大事なものなの



今日はね、  
ヒカルちゃんに覚えて  
ほしいことがあるの

はい！

大事なことから  
ちゃんと聞いてね

ヒカルちゃんとこれからも  
一緒にいるために



ぬちゅ

私がお願ひする日は  
使ってほしいの



わかりました！

いい子ね…  
じゃあ、着けるからじつとしててね



はいOK！  
こんな感じに使うの  
変な感じでしょ？

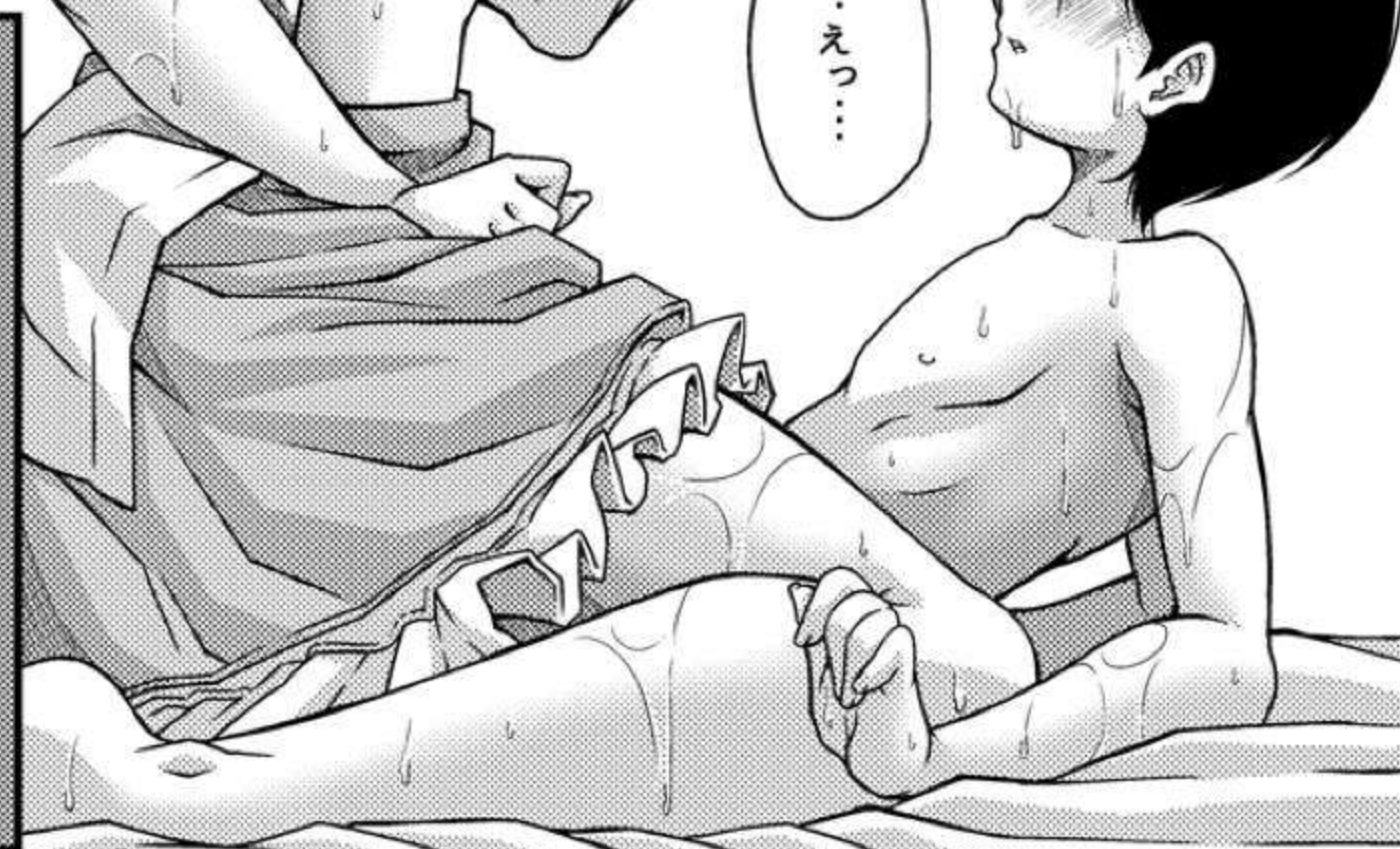
なっ、なんだか  
ちよつと可哀しいです

うふふ、  
戸感つた顔も  
可愛い…



痛かったら  
言つてね？

だっ、  
大丈夫です！







この後はお嬢様への  
給仕かしら？

はいっ！

その後は美鈴さんに  
差し入れを持っていきます



お茶の温度に  
気をつけてね！

はいっ！  
ではまた！

頑張ってるね！

ダッ！！



あああ…

咲夜さん…  
咲夜さん…

咲夜さん…

私のこと…  
忘れちゃったんですか…？

次巻へつづく？



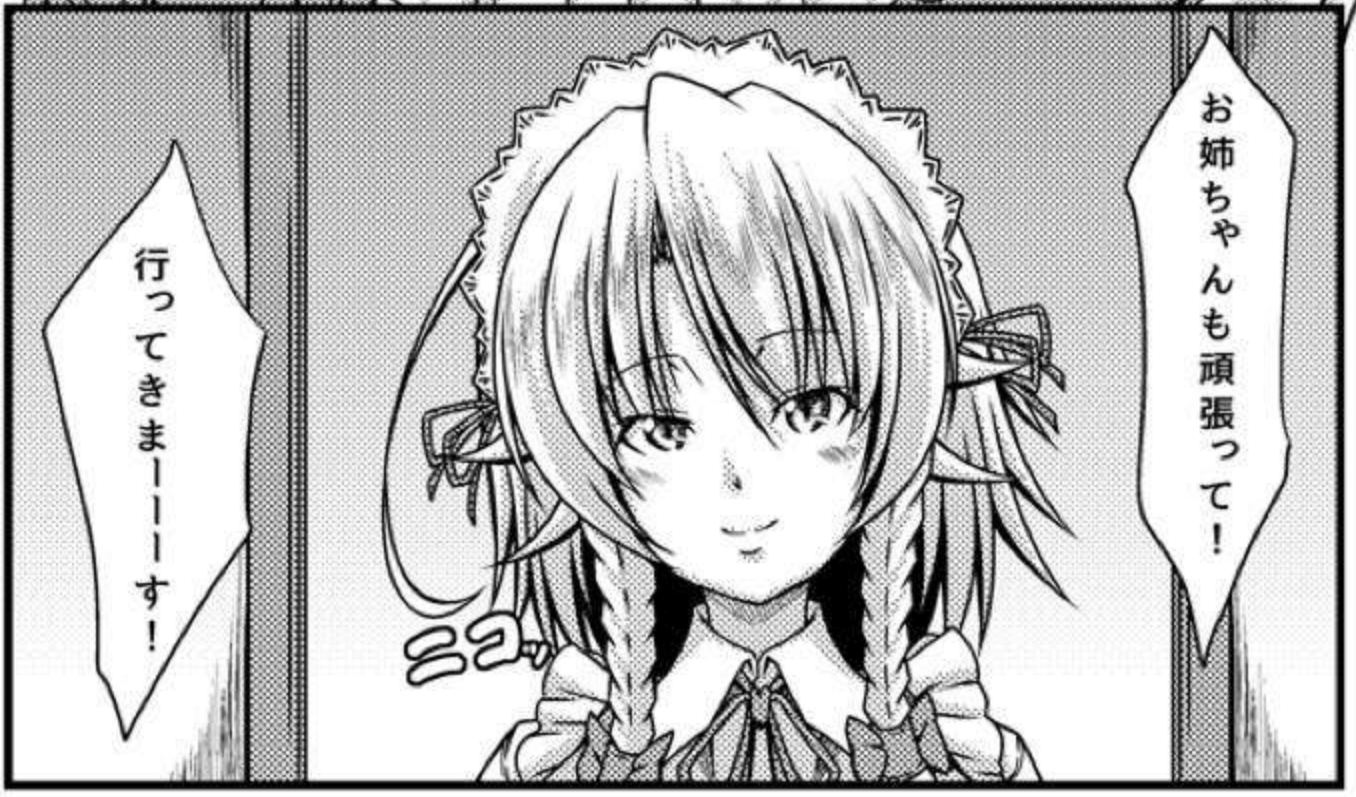
はふうう…  
ああああ…まだ  
火照りがぬけないわね

ヒカルちゃんごめんね…  
逆に疲れさせちゃった…

ガキヤ

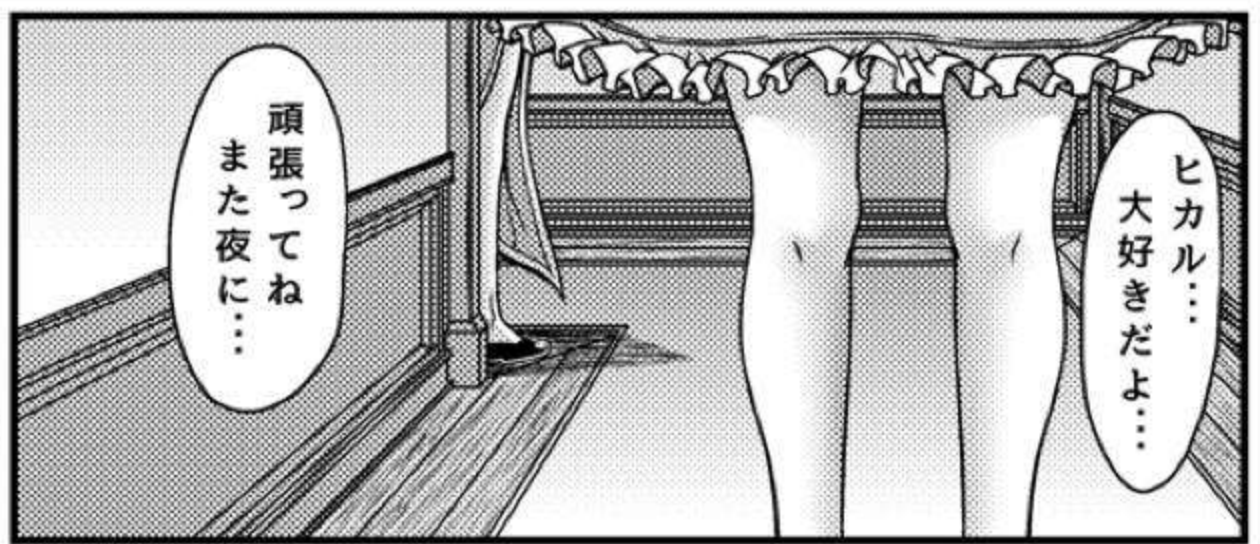
若いだけあって  
体力はさすがね

いつ、いえ…  
僕は大丈夫です…



お姉ちゃんも頑張ってる！

行ってきまーす！



ヒカル…  
大好きだよ…

頑張ってるね  
また夜に…



原作 : 上海アリス幻楽団

発行 : Guild Plus  
印刷 : 丸正インキ有限公司

Mail : [super\\_sonico\\_saga@yahoo.co.jp](mailto:super_sonico_saga@yahoo.co.jp)  
URL : [https://twitter.com/guild\\_tatsuya](https://twitter.com/guild_tatsuya)